



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/10/06

バイブルの真実シリーズ

#1 「安井享氏の講演会のご案内とノアの大洪水—動かぬ証拠」

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。

ごうちゃんねるは、去年 5 月 23 日からスタートしました。

最初に手掛けたシリーズは『創造主はおられるシリーズ』。

聖書に紹介されている創造主はおられる。これがいかに科学的に立証できるかというシリーズです。

大変好評を頂いて、色んなミッションスクールで、授業の教材として流して下さっているそうです。

また、ある教会ではユース(*クリスチャンの若者たち)へのメッセージとして流して下さっている。

先日も、群馬県高崎から来られた方が、『創造主はおられるシリーズ』で確信して、昨年 11 月に洗礼を受けた」という大変嬉しい報告をしてくださいました。

それで「これはいいなあ」と思いまして、続編をお届けしよう決めました。

題しまして『**バイブルの真実シリーズ**』！パチパチパチ！！ということでございます。



ところで、そのお話に行く前に一つご案内があります。創造論、すなわち神がこの世界をお造りになったということ、最新データを駆使して上手に分かりやすく解説して下さる方がいるんですね。

安井享 (やすい とおる) さん。私も尊敬し、この方のお話を聞くのを楽しみにしています。

お話を聞いたときに、私自身が色々閃きを与えられるんですね。

10 月 23 日 (日) 午後 2 時半から 4 時の予定で、私たちの東住吉キリスト集会で講演をしてくださいます。全席申し込み制です。どうぞ皆様、奮ってご参加下さい。

東住吉キリスト集会のホームページに申し込みの様々な手続きが書いてありますので、必ずそこから入っていただきますようによくお願い致します。



さて **バイブルの真実シリーズ** 第 1 回目は、ノアの大洪水事件の記事の真実性について紹介します。

聖書を見ると、すべての陸地世界が一度海の下に沈んでしまった。

高いエベレスト山も含め、全地球陸地が海の下に沈下してしまった、ということが書いてあります。

その証拠はいくつもあるんです。

例えば、エベレスト山頂の岩石の中から、海底生物の化石が出て来るんですね。

しかも、その種類が問題なんです。岩石は大きく分けると 3 つに分類できます。

①火成岩：簡単に言うと、マグマが冷えて固まった岩石。

②変成岩：一旦出来上がった岩石が、熱や圧力によって組成が変成して出来た岩石。

中身が変成したので変成岩。

③堆積岩：海底や川底・陸地に塵が積もりに積もって、その圧力によって出来た岩石。

特に水の底 (海底や川底) に堆積して出来たものを水成岩と言います。

実は、エベレストをはじめ高い山々の山頂の岩石は水成岩が多いんです。

つまり、エベレスト山頂は海底にあった、ということ、岩石によって知るんですね。

これは聖書が語っているとおりのことなんです。

だけど、「その時の水はどこ行ったん？」という問題が出て来るんですよ。海の水は蒸発しても、また雨や雪になって降って来る。だから、今も陸地が存在しているのはおかしい。水の底に全部沈んだのなら、いついつまでも沈んだままじゃないの？今は5大陸・7大陸あるじゃないか。

聖書は何と言っているのでしょうか。大洪水になった時の大雨の期間が明記されています。

創世記 7 章

12 大雨は四十日四十夜、地に降り続いた。

17 大洪水は四十日間、地の上にあった。

水かさが増して箱舟を押し上げたので、それは地から浮き上がった。

19 水は地の上にありますみなぎり、天の下にある高い山々もすべておおわれた。

中東の一地域じゃないんです。全地球陸地の高い山もすべて覆われた。

24 水は百五十日間、地の上に増し続けた。

雨が続いたのは 40 日 40 夜。40 日目に水かさが増えるのは止まったか。いいえ。

百五十日間、地の上に増し続けた。

40 日間雨が降って止んだ後も、水かさは 110 日間 ぐんぐん増し続けた。

雨が降らなくなったのに、なぜ水かさが増加して行ったのでしょうか。

水の出どころは上から（雨）だけではなかったんです。

11 ノアの生涯の六百年目の第二の月の十七日目、その日に、大いなる淵の源がことごとく裂け、天の水門が開かれた。

天の水門は上から降って来る雨です。しかし、もう一つ水源が書いてある。それは大いなる淵の源。大いなる淵の源がことごとく裂けた。

これは、大量の地下水を貯蔵していたプレートが引き裂かれたという意味です。

プレートはマントルの上に乗っかっていて、その中には莫大な量の水が貯蔵されていましたが、この時に地球規模で大地殻変動が起こったんです。

それでプレートが移動し、プレートそのものに亀裂が入り、中の大量の水が噴出したことによって、雨は止んだのに水かさがぐんぐん増して行ったと語っているのですね。

この箇所を別の観点で語っている箇所を見ましょう。

詩篇 104 篇（新改訳第 3 版）

6 あなた（神）は、深い水を衣のようにして、地をおおわれました。

水は、山々の上にとどまっていた。

ノアの大洪水のことです。

8 山は上がり、谷は沈みました。あなたが定めたその場所へと。

山は上がり。地殻変動によって、地形が洪水前と後で激変した。地殻変動によって隆起して、それまでの高い山々をはるかに超える、そびえ立つような山が水面から突き出して行った。

同時に谷は沈み。元々谷だった所がもっと深く沈んだ。海底の中で亀裂・切れ込みが生じて海溝が出来た。一層深い深海1万メートルの世界、そのようなものが出来た。そうして陸地と海に分けられた、と言っているのです。

これが起こらなければ、すべての陸地は海の下に埋没したままなんですよ。実際にすべての山を埋め、すべての海を引き上げて、地球の表面を完全にフラット/平らにすると、地球の表面は海拔マイナス3000メートルに沈むのです。つまり、水が完全に地球表面を覆って、地球陸地はゼロになることが分かっているんですね。

聖書の記述は額面通り受け止めてなんら問題ないんです。聖書の記述通りのことを受け止めて、それを科学のアプローチで調べると、実に合理的・理にかなっている・その通りということが確信できるのです。

最初に安井享さんの講演会をご紹介しましたが、私が話したのは序の口なんですね。講演会のテーマは『全世界をおおったノアの大洪水は本当にあった』です。私は今日さわりの部分をお話しましたが、安井さんは映像を見せ、最新情報を駆使して、初めての人にも分かりやすく解説してくださいます。そして、きっと質問の時間を取ってくださると期待しています。なので、初めての人でも何も心配ありません。非常に興味深い講演会になること請け負います。ぜひ皆さん、奮ってご参加下さい。YouTubeでの参加もできると思います。ただし、申し込みされた方だけです。東住吉キリスト集会のホームページに、ぜひいらしてください。

ということで、これから**バイブルの真実シリーズ**、「聖書は、額面通り信じるに足るだけの根拠がこんなにもあるんですよ!」ということを紹介していきますので、よろしければお付き合い下さい。

ではまた このチャンネルでお目にかかりましょう。よろしければ、チャンネル登録もお願いします。皆さん、お元気でいてください。さよなら!

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。